



なかむら すずな ちゃん
(5さい)

かきこおりが だいすき。
だから かきこおりやさん
に なりたいの。おすすめ
は イチゴと ブルーハワイ
の しましまの かきこ
おりだよ。



おひさま保育園のおともだち



さとう れいじ くん
(5さい)

たからくじを あてて お
くまんちょうじやに なり
たいんだ。おもちゃを
いっぱい かうんだよ。あ
と がめんライダーオース
にも なりたいな。

がんばっているあなたがすき

シリーズ・ひと

今、一番楽しくて、一番頑張っていることです
日本コロムビア全国吟詠・剣詩舞コンクール決戦大会で入賞した
谷田 優花 さん(弟子屈小4年)



お姉さんの美優さん(左)と一緒に



12月に東京で開催された日本コロムビア全国吟詠・剣詩舞コンクール決戦大会。全国各地の予選を勝ち抜いてきた大人と競い、見事入賞を果たした小学生が谷田優花さんです。漢詩や和歌などに節を付けて吟じる詩吟。この詩吟に合わせて舞うのが詩舞で、扇子を持って踊る詩舞と、刀剣を持って踊る剣詩舞があります。優花さんは、詩舞の部で入賞しました。
―詩舞は摩周丘幼稚園の年長組のとき始めました。幼稚園の園長先生に誘われて、何となくやってみたいなあと感じたからです。始めたらとても楽しくて、大好きになりました。お稽古は週に一度ですが、とても楽しみにしています。
優花さんを誘った園長先生というのは、現在谷田さんが所属する聖月流日本吟詠詩舞道会川湯支部の代表、鈴木幸栄さん。園でのお遊戯などを見ていると、リズム感があり、堂々と大きな踊りをするのことにひかれたそうです。1年生のとき正式に入会しましたが、踊りの覚えが早く、驚いたとのこと。優花さんと同時に、お姉さんの美優さん(弟子屈小6年)も詩舞を始め、楽しみながらもよいライバルとしてもお互いに練習に励んでいます。今大会の予選と

なる北海道決戦大会では、優花さんが優勝、美優さんも準優勝に輝いています。
―詩舞は、今、一番楽しくて、一番頑張っていることです。お稽古も全然つらくないし、大変なこともありませんが、全国大会には初めて出場しましたが、これまでのいろいろな大会同様、全く緊張せずに楽しく踊ることができました。全国から集まったレベルの高い皆さんと同じ舞台上に立ち、入賞できたことは本当にうれしかったです。
今大会の活躍で、日本コロムビア剣詩舞会正会員に選ばれた優花さん。詩舞をたしなむ方も、優花さんという正会員ですが、優花さんの思いは複雑だったそう。
―正会員になると、全国大会に出ることができません。賞状はもらえないから、来年もう一度全国大会に挑戦させてほしいと思います。
優花さんのこれからの目標は、
―詩舞はこれからもずっと続けていき、もっと上手になりたいです。また、3年生のときから詩吟を独学で始め、4年生になってから本格的に教わっています。昨年は詩吟では全道で3位でした。今度は詩吟で全国大会を目指したいです。詩舞も詩吟も頑張っていきます。

※感想：思い
※すずび：興に任せてすること



弟子屈短歌会
会長・柿崎 清一 さん
会員・12人



弟子屈短歌会の皆さん
前列中央が会長の柿崎さん

今回は、弟子屈短歌会の皆さんをご紹介します。会長の柿崎さんにお話を伺いました。
「弟子屈短歌会は1953(昭和28)年に創立、今年度で57年を迎えました。戦後、心の潤いに文化活動を求めた町内の有志と、賛同のサークルによる文化協会が創立され、当会も協賛し1954年に加盟、今日に至ります。」

現在、会員は12人(うち町外4人)で、中には新墾(にいしん)社や釧路歌人会などの結社の同人となっている方もいますが「短歌」という共通の広場で虚飾なく自己の感情を見据えながら、恵まれた自然環境や生活面、社会面の身近な現実を詠(うた)い、自由多彩に同好者として研鑽(けんさん)し合う会であったからこそ、今日まで続けてこられたのだと思っています。
あるがままの現実と、それを詠う作者の感性とが、鋭く語句として表現されるところに新しい韻律が作り出され、31文字に秘められた作歌は、誰も消すことのできない感懐となって胸に迫ってきます。会員の作歌には、それぞれ個性が読み取られ、感動と親しみがわいてきます。時代とともに短歌の詠み方の形式も変わってきましたが、短歌は短詩型の中で最も叙情的な性格が著しく、喜び、悲しみ、愛の融合の中、短歌の持つ「すずび」に接し、短歌の詩心に通ずる営みであらうと思います。
「短歌」を作ることを難しく思うことはありません。要は、心に感じたことを31文字の中に込めればよいのです。誰でも詩心は持っていますから、話してくれました。
こうして詠まれた短歌は、会員手作りによる季刊会誌「青い川」に収められています。年4回の発行で、現在1300集目となりました。「青い川」は図書館にあるそうですが、一覧になってみませんか。また同会では、歌友を募っているそうです。例会は毎月第4火曜日の13時から、公民館で開催しているとのこと。興味のある方は、柿崎さん ☎482・4704、または塚本さん ☎482・3148まで、お気軽にお問い合わせください。